

# Gulf of Georgia Cannery Society

Gulf of Georgia Cannery とはカナダ西海岸のサケ漁業の歴史について学べる施設である。1894年に設立されたこの施設は元々缶詰工場として B.C.州の漁業を牽引するものであったが、現在は稼働されておらず、専ら教育機関として使用されている。今回はガイドによるツアーに参加することができ、濃いお話を聞いた。



Picture 1 外観



Picture2 映画公開前の様子

Gulf of Georgia Cannery のツアーの最初に B.C.州のサケ漁業の歴史の概要に学べる映画を鑑賞した。非常にファンシーな映画で、サケ漁業中に亡くなったおじいちゃんが突如孫の前に現れ、タイムスリップを通してサケ漁業の歴史を時系列で紐解いていくという内容であった。昔はサケ漁業のために長期間船に乗り、家に帰ることもままならなかったり、海難事故に遭い、命を落としたりすることも多かったようだ。おじいちゃんと孫のファンシーさとは裏腹に、サケ漁業の厳しさを感じ、身がしまる思いであった。同時に、この厳しい歴史があったからこそ、B.C.州のサケ漁業は発展してきたのだと感じた。

映画を見た後は、サケ漁業で使われていた船舶を再現した模型を見学した。模型中に入ることができ、そこにはしっかりとしたつくりのキッチンやトイレ、ベッド、談話室等が完備されており、長期間の漁業が存在したことを感じさせた。



Picture3 船舶の模型の中



Picture 4 労働環境の悪さを物語る模型

缶詰をする段階では、しばしば機械に手が巻き込まれ、指が切断されることがあった。その上、切断された指が缶詰に入り込み、出荷されることもあったというおぞましい事実を聞き、戦慄が走った。



見学を通じて、劣悪な環境の中で働いていた人たちの存在を学び、このようなことを繰り返さないことが重要であるということを知った。また、B.C.州のサケ漁業を受け継ぎ、発展させ続けることも、厳しい条件のもとで働き続けた先祖たちへの恩返しになるのだろうと感じた。